

(^\_^)//{Hit j k l h}

# 株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

ITS more

2020年10月9日 投稿者: SATOXITS

## GShell 0.6.4 - わくわくワーク

社長：さて、今日もわくわく始業しましょう。

### やる気ワクワク ワークマン

開発：このキャッチコピーは脳裏に刻まれました。

基盤：[Wiki](#)に本社群馬県伊勢崎市とあります。

社長：知りませんでした。昔はつくばから群馬まで一般道で帰省してましたらから、古賀一館林ー伊勢崎を通りました。あの道沿いにあのるのかもですね。

基盤：今の[国道354](#)ですね。2014年8月全線開通とあります。

社長：方向音痴でナビもなく、よく古賀市内とか館林市内をぐるぐるしてしまいましたっけw

開発：マップル見ながらっていう時代でしたね。

社長：でも迷子になるというのはそれはそれで面白い思い出になります。途中が通過するだけの街じゃなくなる。今は高速を3回乗り継ぐだけなので、あまり間違えないですね。必要なのは標識が読めるようメガネだけです。

開発：間違っただ時のリカバリーのコストは高いですけどね。

社長：乗り継ぐとこを降りちゃうことがあるんですよね。いつもぼんやり運転してるので。

開発：常磐道で煽りとかされたら目が覚めるでしょうけどね。

社長：回転灯がくるくるしてると反射的に目が覚めますね。

開発：JavaScriptで回転灯作りましょうか？

基盤：練馬とか三郷で降りちゃて、グルグルして戻るのは辛そうです。

社長：三郷から常磐道に乗り換える所でクロスする車線がすごく嫌だったんですが、あれも最近無くなりました。

基盤：あのBMWのカーナビって音声案内無いんですかね？

社長：さあ。なにせすごく古いので、液晶はひどいし、使い方もわかってません。

開発：iPhoneにナビしてもらったほうが良さそうです。

社長：次はそうしましょう。

基盤：そろそろ今日のワークを。

開発：よし！いくぞうっ。

## オリジナルソースの再現

社長：毎回GShellのページのHTMLソースをWordPressのカスタムHTMLブロックにコピペしているのですが、script が走ったあとではオリジナルから変わってしまっていて、動かないことがあります。

開発：思うに、オリジナルのHTMLって何だろうという所もあります。GShellのように一枚のHTMLに全てがインラインで入っていればそれは明らかですが。

基盤：URLで指されているHTMLは他を呼び出すためのコードっていうのもありますよね。

社長：ページを生成するスクリプトとCSSのセットがあればそれで良さそうにも思いますが。

開発：それもまた、動的に条件判断されたり、生成されたものである場合もあるわけです。常に生成を続けていて書き換えられているページのオリジナルって何なんだろうという気はします。ずっと生成中で、完了というタイミングが無いかも知れない。

社長：まあ一般論としては難しいですが、とりあえずGShellで。ブラウザでページのソースを開いてコピーというのは面倒なんです。それに、全くのオリジナルの静的なソースよりも、今のようにJavaScriptでメタ情報をくっつけたものの方が良いと思っています。それは、HTMLにJavaScriptで電子署名するための準備運動でもあったはずですよ。

開発：今まで、gsh エLEMENTの innerHTMLかouterHTML を吐くようにしてきましたが、JavaScript を走らせた結果、色々のワークブロックを追加してきた結果、outerHTML にはオリジナルにはなかったELEMENTとか、style 属性がくっついたのが出てきます。で、オリジナルと同じものを吐くように、そういうものを削除してから吐かせていたのですが、ちょっと面倒な感じはしていました。

開発：それで、それならそもそも、最初にロードされた時のまっさらな状態のDOMをダンプすれば良いのではないかと、思ったわけです。ところが、それでわかったのは、あるJavaScriptが実行される段階のinnerHTMLというのは、そのJavaScriptが実行される時点のDOMの状態でしか無いんですね。

社長：一旦そのHTMLを全部を読み込んでから、その中に含まれているscriptタグを実行しているわけでは無いと。

開発：頭から読みながら即実行しているんですね。scriptというタグの単位で。なので、自分より後に定義されているタグのidを参照すると、未定義になるわけです。まだDOMに存在しないので。同様に、後出の script タグの中の関数名や変数名も参照でき

ません。

社長：まあ原理的には無限長のHTMLだってあるでしょうしね。HTMLストリームというか。

基盤：インラインscriptの場合はそうでしょうけど、リンクされてるJavaScriptはいつ実行されるんでしょう？

開発：それは知っておく必要がありますが、今日は必要ないと思います。

開発：まあそういうわけで、script を道すがら実行するのはやめて、ページの onload で実行するようにする。load が完了する直前のouterHTMLを、オリジナルのコピーとして保管しておく。道すがらの実行がどうしても必要なものがあれば、後からオリジナルには無い属性やエレメントをコピーから削除する。そういう作戦で行きたいと思います。

社長：了解。ちょっと休憩しましょう。

基盤：今日は21:10に第2ラウンド出走ですね。

開発：わくわくしますね。

\* \* \*

開発：はあ… ようやく内部の整理の目処がつかしました。作戦通りでうまくいくようです。

社長：今日はリファクタリングな1日ですね。ちょっと休みましょう。

基盤：もう始まってますね。ボギーでスタート。

開発：向こうの海の水も冷たいばかりじゃないだろう♪

社長：お日様に身体を見せつけてやれ♪

開発：都会では自殺する若者が増えている♪

社長：それはいいことだろう♪

基盤：恐ろしい歌ですね。

\* \* \*

基盤：前半終了で+4-1と出てますが。

開発：打ちまくってますねw

社長：予選は通って欲しいですね。

\* \* \*

社長：トルクスネジマークになんかアクションを付けたいです。

基盤：ネジって英語でなんて余分んでしょう？

開発：スクリュードライバーってくらいですからスクリューですかね。

社長：でもそれって、船の推進力のプロペラっていうイメージですよ。

基盤：・・・ああ、ボルトっていう表現もありますね。

開発：ボルトはかなり狭いイメージですね。

社長：落雷の事をサンダーボルトって言いますね。

開発：ライトニングとかサンダーとか、アップルの好きそうなネーミングですね。

社長：昔はファイアワイヤーとか。

基盤：日本人的には、ボルトよりスクリューのほうがカッコいいですよ。トルクスもスクリュードライブの一種だとWikiに。ああ、規格識別的にはISO 10664だそうです。

開発：ISOといえばそもそもがネジですからね。イソネジ。

基盤：ネジは標準化のシンボルでもあるんですね。

社長：私が就職した当時のAISTのトップは計量標準の権威でしたね。

開発：あの事故は被害者が可哀想過ぎて、表向き、話が冷静な技術的方向へ進展しなかったですね。

基盤：あ、終わりましたね、+5で。 。なんとか通過の様様。

## やめるときもすこやかなるときも

社長：ところで、開始時のDOMのツリーをクローンして保存して置くって、どのくらいメモリを食うんでしょうね？

開発：ソースが300KBくらいですからね。冗長なテキスト表現は縮む、メタ情報のぶんは膨らむで、とんとんか、大きくても1MB程度ではないかと思うんですが。うーん、インスペクタのMemoryで見ても、JavaScriptのperformanceで見ても、前後の変化がよくわかりません。

開発：リソース使用状況を定期的にサイドバーに出してみます…



基盤：あれ？毎秒20KB近く太り続けてますね。



開発：あれれ… これは他のタブの分も入ってるのかもですが… 明日調べましょう。

基盤：あ、時々どんと減りますね。ガベージコレクションが遅延して行われている様

な。

開発：ということは、この一回のイベント処理というか、このメモリの使用量のモニタリング表示自体に20KBくらい、一時的にヒープを使ってるって事ですかね。

社長：ヒープの使用量の遷移をグラフにすると良さそうですね。

-- 2020-1009 SatoxITS

[gsh-0.6.4.go](#)

ダウンロード

2020/09/10 03:54:37

2020/09/10 03:55:00

Elapsed: 23.123 s

Skew: 1 ms

Memory: 261.289664 MB

GShell version 0.6.4 // 2020-10-09 // SatoxITS

// // /\*

Topbar

\*/ // // // /\*

Indexer

\*/ // // /\*

## GShell // a General purpose Shell built on the top of Golang

It is a shell for myself, by myself, of myself. --SatoxITS(^-^)  
prev.

Edit Save Load Vers 0 Fork Stop Unfold

## Digest Source

<code>*/ /*</code>	▶ Statement
<code>*/ /*</code>	▶ Features
<code>*/ /*</code>	▶ Index
<code>*/ //</code>	▶ Go Source
<code>//</code>	▶ Considerations
<code>// /*</code>	▶ References
<code>*/ /*</code>	▶ Raw Source
<code>*/ /*</code>	▶ GJ Console
<code>*/ /*</code>	▶ Form Auto. Filling
<code>*/ /*</code>	▶ BlinderText
<code>*/ /* *// //</code>	▶ Golang / JavaScript Link
<code>/*</code>	▶ GJ Link
<code>*/ /* *// /*</code>	▶ Live HTML Snapshot
<code>*/ /*</code>	▶ Event sharing
<code>*/ /* // /*</code>	▶ Wirtual Desktop
<code>*/ // // // /*</code>	▶ SBSidebar
<code>*/ // // // // /*</code>	▶ Work Template
<code>*/ // // // // // /*</code>	▼ Original Source

## Original Source of GShell

// \*/ // // //